

令和4年度 江戸川区南小岩第二小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考える子 ○ 思いやりのある子 ○ 健康な子 	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○「温かい心(敬愛・思いやり・感謝)」「確かな学力」「地域への貢献性」を育てる学校 ○よく聞いて、見て、話し合っ、体験を生かして考える子。互いに助け合い、人、物、自然を大切に育む子。心身ともにたくましく、めあてをもってねばり強くやりとげる子。 ○子供を育む信念をもつ教職員。児童・保護者・地域の人々、社会、自然とのかかわりの中で、様々な課題に気付く教職員。課題を解決するために、主体的に考え、新たな発想を生み出せる教職員。考えや発想を適時に実践に移すとともに、自己評価を適切に行い研鑽する教職員
	前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>基礎基本の定着に向けた取組。「主体的、対話的で深い学び」の全教科での実施。授業の工夫、改善に向けた取組。体力向上に向けての取組。学校の安全管理体制の継続。 <課題>基礎基本の定着及び「主体的、対話的で深い学び」のさらなる実践。児童の体験的活動、自主活動(あいさつ運動等)のさらなる推進。健全育成に関する取組の周知。特別支援教育の一層の促進及び保護者への周知。	

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
いきいきと学ぶ学校づくり	① 確かな学力の向上	・7つの主要事業(取組)に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・改善・充実	・「確かな学力向上プラン」による授業改善、二小スタンダード(学習のきまり)徹底…全学年、毎日・ALTの効果的活用…毎週・「各教科等の連携教育プログラム」を踏まえた学習指導の実施…全学年、一人一台端末の活用、「eライブラリアドバックス」の推奨、朝学習での取組…全学年・放課後補習教室(外部委託)との連携、放課後補習(スキリタイム)の実施…全学年・算数少人数指導による個に応じた指導の充実…毎日	・ベネジッドリルによる検証各学年平均10ポイントアップ ・保護者満足度90%以上 ・スキリタイム年35回実施率100% ・家庭学習強化週間年3回実施 ・eライブラリ全児童活用率100%	A	A	○ベネジッドリルの結果に基づき、課題のある内容についての授業を継続した。また、授業では振り返りを重視し、次時に生かす授業を重視した。家庭学習強化週間にeライブラリの活用を位置づけて、学力向上をすすめた。●放課後補習教室の講師との連携、スキリタイムの充実をすすめていく。	A	個々の能力に応じた学習指導により、やる気を出させ、それにより全体の学力向上につなげていく取組は良いと思う。保護者からの要望にもあるよう、個々の学力向上を大事にし、全体の学力向上につなげてほしい。	「誰一人取り残さない学力向上プラン」による授業改善…振り返りの充実・ALTの効果的活用…表現する時間の確保・「各教科等の連携教育プログラム」を踏まえた学習指導の実施…端末の効果的活用…一人一台端末の活用、eライブラリ学習の推奨、朝学習での取組、放課後補習教室(外部委託)との連携、放課後補習(スキリタイム)の実施、算数少人数指導による個に応じた指導の充実…個別学習の充実
	② 体力の向上	・「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実	・二小タイム(運動遊び)の実施…毎週・児童の主体性重視の体育授業、補助運動の実施…全学級・外遊び、縄跳びの奨励…通年・各学期の行事(運動会、持久走大会、大縄大会)及び練習期間の設定、継続実施…毎学期・小岩二小、篠五小、南小岩小4校による食育での小中連携…毎学期	・二小タイム等実施率100% ・保護者満足度90%以上 ・各行事及び練習期間実施率100% ・食育の促進、よつばメニュー実施率100%	A	A	○二小タイム、各種体育行事の計画的な実施の他、コロナ禍で制限された運動会を感染症対策を講じて少しずつ取り入れたことにより、児童の運動意欲のさらなる向上が図られた。●運動の機会の確保、食育との連携を進めていく。	A	コロナ禍による制限の中、運動会の実施ははじめ感染拡大防止対策を考えた実施により、子供たちの運動の機会が増えたと感じている。また、まだ工夫した取り組みが必要となるが、体力向上に努めてほしい。	・二小タイムの実施…運動に主体的に取り組める工夫・児童の主体性重視の体育授業等の実施…ねらいを明確にした授業・外遊び、縄跳びの奨励…時間確保、各学期の行事及び練習期間の設定、継続実施…自主的な活動への支援、練習時間の確保・食育での小中連携…事前事後の指導の重視
	③ 読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・読書科年間計画に基づく探究的学習の実施…毎学期・朝読書の実施、読み聞かせボランティア等の活用…毎週・学校図書館司書の活用、図書室の整備、蔵書の適切な管理…月2回・読書週間の実施による読書意欲の喚起…年2回	・読書科年間計画実施率100% ・保護者満足度90%以上 ・朝読書毎週2回以上、及び読み聞かせボランティア等による読み聞かせ年間実施 ・読書週間児童参加率100% ・学校関係者評価A	A	A	○読書科年間計画に基づく探究的学習の実施の他、読み聞かせボランティア(高学年による読み聞かせ)では、読書の能力を高めることにつながることも、下学年の高学年に対する自覚の向上にもつながった。●読書活動の充実を継続していく。	A	図書館職員や保護者ボランティア、読み聞かせボランティアさん等との協力により、図書室環境と読書環境がさらに充実してきていることはよい。保護者の方の協力は素晴らしい。	・読書科年間計画に基づく探究的学習の実施…ねらいを明確にした授業・朝読書の実施、読み聞かせボランティア等の活用…継続実施・学校図書館司書の活用、図書室の整備、蔵書の適切な管理・担当との連携強化・読書週間の実施による読書意欲の喚起…全職員で呼び掛け
	④ 体験的活動、自主活動の推進	・児童の体験的活動及び自主活動の促進による豊かな心の育成	・異学年交流(たてわり班、きょうだいやい)の実施…毎学期・全校清掃朝会実施…毎月・高学年全員による数箇隊の実施…通年・あいさつ名人、あいさつ隊等挨拶運動…通年	・異学年交流年間計画実施率100% ・高学年数箇隊全員参加、区民祭り等への参加 ・挨拶運動通年実施の継続 ・保護者満足度90%以上	A	A	○計画上の異学年交流の他、学年ごとに相談して交流を進めたこと、授業をきっかけにあいさつ名人の体験を受けに来る児童が増えた等、児童の主体性を高めることができた。	A	犬の散歩中に何度か児童から挨拶され感じている。異年齢での縦割りで活動は、社会に出るために必要な力を養えるために大事にしてほしい。	・異学年交流の取組…上学年の児童全員・全校清掃朝会実施…意義の向上 ・高学年全員による数箇隊の実施…意欲の向上 ・あいさつ名人、あいさつ隊等挨拶運動…挨拶の習慣化
特別支援教育の推進	⑥ 共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・「学校2020レガシー」における地域人材、外部人材の活用…年2回 ・ユニバーサルデザインの視点での学習環境整備…全校・支援センターによる個に応じた対応…全対象児童 ・エンカレッジルーム(にここルーム)の効果的活用…通年・副籍交流等の計画的実施…全対象児童	・「学校2020レガシー」に係る人材活用計画100%実施 ・教育環境、言語環境整備100% ・対象児童保護者の満足度90%以上 ・保護者への周知70%以上 ・副籍交流等の実施率100%	A	B	○「学校2020レガシー」における外部人材、地域人材により、児童が将来に対する夢をもてたこと、また現実を知り考えなければいけないことを学ばせることができた。●外部人材、地域人材と継続的に学習できるようにする。	A	学校2020レガシーの達成に向けて、学校内外、保護者、地域を巻き込みながら進めてほしい。	・「学校2020レガシー」における地域人材、外部人材の活用…実施後の振り返りの充実 ・ユニバーサルデザインの視点での学習環境整備…継続実施 ・支援センターによる個に応じた対応…個の内容確認 ・エンカレッジルームの効果的活用…環境整備・副籍交流等の計画的実施…計画的な実施の継続
	⑦ 子供たちの健全育成	・江戸川区子どもの権利条例に基づく子供たちの健全育成に向けた取組	・「hyperQ-U」の実施及び効果的活用、道徳教育の充実、いじめ防止授業の実施…全学級・校内委員会の効果的実施、全職員での支援体制の構築…毎月 ・特別支援教育に関する教員の指導力向上に向けた研修会の実施…年3回	・校内委員会毎月実施、対象児童への実施率100% ・保護者への周知70%以上 ・特別支援関連研修会参加率100%	A	A	○「hyperQ-U」の研修会を生かした実施及び効果的活用、道徳教育の充実、いじめ防止授業等により、児童の健全育成を進めた。●学校生活アンケートや情報交換を通じ、児童の悩みを早期発見、対応を進める。	A	運動会、いけいけ祭等の行事の際、児童が互いに励まし合っている姿を見て、ほほえましく感じた。健全育成に向けた様々な取り組みを活用し、引き続き指導をお願いしたい。	・「hyperQ-U」の実施及び効果的活用、道徳教育の充実、いじめ防止授業の実施…結果の有効活用…校内委員会の効果的実施、全職員の支援体制の構築…内容の理解と周知 ・特別支援教育に係る教員の指導力向上に向けた研修会の実施…計画的な実施
	⑧ 巡回指導の充実	・関係教員等の適切な連携による指導の充実	・関係教員等、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員及び各担任との情報共有、個別指導への活用…毎日・保護者への理解の促進、PR…毎学期	・情報共有実施率100% ・当該保護者満足度90%以上	A	A	○巡回指導教員、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員及び各担任と情報共有し、個別指導へ活用できた。●保護者への周知を進める。	A	児童の実態に応じて、保護者の理解、協力が得られるよう、可能な限りの対応をお願いしたい。	・巡回指導教員、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員及び各担任との情報共有、個別指導への活用…毎日継続 ・保護者への理解の促進、PR…毎学期実施
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	⑨ 学校関係者評価の充実	・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・学校経営方針の保護者、学校関係者への周知…年度当初 ・保護者アンケートの実施、結果の周知…各行事実施後、年度末 ・教職員及び学校関係者中間評価による方針の修正及び追加、年度末評価の実施による次年度改善策の立案…9月2日	・各保護者アンケート実施後の結果周知1か月以内 ・学校関係者評価に係るPDCAサイクルの年間実施 ・保護者の満足度80%以上 ・学校関係者評価A	A	A	○行事ごとの保護者アンケートの実施、結果の周知、学校関係者中間評価の結果を生かした計画の修正により、教育活動の改善を進められた。●学校の教育活動が良く見えたと評価できるようホームページの充実を進める。	A	結果は良好と思うが、引き続きよりなるよう努力を続けてほしい。また回収率が高まるよう工夫ができるように。	・保護者アンケートの実施、結果の周知…各行事実施後公表 ・教職員及び学校関係者中間評価による方針の修正及び追加、年度末評価の実施による次年度改善策の立案…評価の実施と改善計画作成
	⑩ 関係諸機関との連携	・生活指導連絡協議会での情報共有 ・いじめ、不登校の未然防止、早期解決に向けた対応の強化	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの連携、適切な活用…毎週 ・課題把握時点での情報共有、生活指導連絡会、各課題対策委員会の実施…毎週、通時 ・SNS東京ルールの徹底、家庭との連携…毎学期	・情報共有率100% ・当該保護者満足度90%以上 ・事実把握後1週間以内行動、成果の確認 ・SNS東京ルールの実施、保護者との連携100%	A	B	○課題について、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、児童相談所等との連携し、課題に対する相談、対応を進められた。●SNS東京ルールの徹底、家庭との連携をさらに継続していく。	A	難しい対応ですが、関係諸機関を上手に活用し、児童に寄り添いながらの対応をお願いしたい。	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携、適切な活用…効果的な活用 ・課題把握時点での情報共有、生活指導連絡会、各課題対策委員会の実施…内容の周知徹底 ・SNS東京ルールの徹底、家庭との連携…毎学期確認実施
	⑪ 地域との共育・協働	・学校応援団を始めとする地域人材、外部人材との連携 ・学校情報の積極的発信	・地域行事、PTA行事への協力…全員1回以上参加 ・ホームページ等による情報公開…毎月 ・学校応援団との連携…毎月	・保護者満足度90% ・ホームページ等による情報発信率100% ・学校関係者評価A	A	A	○PTA行事が少しずつできるようになり、教職員が参加することにより少子化を感じることができた。●ホームページの毎週更新の実施を継続していく。	A	今後も相互連携していきながら、交流活動が進むことを願っている。	・地域行事、PTA行事への協力…全員1回以上参加 ・ホームページ等による情報公開…毎月実施継続 ・学校応援団との連携…毎月実施継続
特色ある教育の展開	⑫ 「学校における働き方改革プラン」	・C4thの積極的活用、ペーパーレス促進…毎日 ・文書起案、各分掌ルーティンによる進捗管理…各分掌長 ・会議の効率的な実施及び時間短縮(15分以内)、回数半減の継続…毎月 ・スクールサポートスタッフ等の有効活用…全学年 ・定時退勤日の実施…月2回 ・教科担任制の推進、協働体制…全学年 ・育児休業等休暇、休業制度の活用促進…全職員(男性含む)	・C4th活用率100% ・文書起案の継続実施率100% ・会議時間、回数の半減継続100% ・スクールサポートスタッフの活用100% ・全教員の残業時間月40時間以内 ・休暇、休業制度の教職員への周知100% ・保護者満足度90%以上	A	A	○感染症対策の変化等を踏まえた新たな課題にも各主任が主体的に対策を立て、管理職の指示を受け、計画的に解決することにより、時間を有効に使える働き方が実現できた。●各主任の進捗管理の能力向上を重視し、各分掌担当の役割を明確にし、課題解決より効率的に実施していく。	A	仕事の内容ごとに精選の工夫が進んでいることは評価できる。改善は大変だと思うが、できることから進めていってほしい。	・C4thの積極的活用、ペーパーレス促進…継続実施 ・文書起案、各分掌ルーティンによる進捗管理…各分掌長 ・継続実施…会議の効率的な実施及び時間短縮(15分以内)、回数半減の継続…副校長による進捗管理継続 ・スクールサポートスタッフ等の有効活用…全学年継続 ・定時退勤日の実施…月2回継続 ・教科担任制の推進、協働体制…全学年 ・育児休業等休暇、休業制度の活用促進…全職員周知	
	⑬ 教員の授業力の向上	・校内研究の活性化 ・教員研修のさらなる充実 ・ICTの効果的活用	・週ごとの指導計画に基づく教育活動の計画的実施及び反省の記載…毎週 ・「主体的、対話的で深い学び」全教科で研究、実施、管理職の授業観察による検証…全教員 ・ICT関連教員研修会…毎学期 ・各授業におけるICTの効果的活用…毎日	・週ごとの指導計画活用率100% ・校内研究授業実施、区小教研全教員参加、11月全学級研究会へ参加100% ・ICT研修会参加率100% ・全学級ICT活用率100% ・保護者満足度90%以上	A	A	○週ごとの指導計画に基づく教育活動の計画的実施及び反省の記載、管理職からの指導、年3回の授業観察、全員の研究授業、計画的なICTにより、組織的に授業力を高めることにつながった。●個に応じた学習が進められるよう、ICTを効果的に活用していく。	A	様々な研修や教材の研究、授業計画の作成等や活動を通じ、児童の学力向上につながると思う。引き続き、授業力の向上を目指していきたい。	・週ごとの指導計画に基づく教育活動の計画的実施及び反省の記載…毎週実施継続 ・「主体的、対話的で深い学び」全教科で研究、実施、管理職の授業観察による検証…全教員実施継続 ・ICT関連教員研修会…毎学期計画通り実施 ・各授業におけるICTの効果的活用…毎日実施継続
	⑭ 安心、安全な学校づくり	・危機管理にマニュアル(感染症・災害・けが・アレルギー等)に基づく全職員の協働体制 ・安全指導の徹底	・各種訓練の計画的実施…毎月 ・週ごとの指導計画への安全管理の記載…毎週 ・学校予算の効果的、効率的な執行…毎学期 ・安全指導の徹底、安全点検の実施…毎月 ・施設、感染症防止対策の徹底…毎日	・各種訓練実施率100% ・週ごとの指導計画への記載100% ・安全指導、安全点検実施、毎月100% ・施設等への即時対応100% ・保護者満足度90%以上	A	A	○各種訓練、安全管理、安全指導、感染症対策は、計画に基づき、途中に改正した内容、点検、確認の上、実施できた。●新たな感染症対策等、状況に応じた対策を立て実施していく。	A	日頃からの意識が大切と考える。児童第一で継続してお願いしたい。	・各種訓練の計画的実施…毎月実施継続 ・週ごとの指導計画への安全管理の記載…毎月確認継続 ・学校予算の効果的、効率的な執行…毎学期確認継続 ・安全指導の徹底、点検の実施…毎月確認継続 ・施設、感染症防止対策の徹底…毎日確認継続